

R. 3. 8. 29

日本の最重要問題は今、

武漢ウイルス災禍になりました。

しかし日本にとってもっと重要で

深刻な問題はウイルスよりも

対中国共産党であると思います。

日本が武漢ウイルスに目も心も

奪われて、間も、中国は

日本とチベット、ウイグル、モンゴル化

することに着々と手を打って

います。

中国は野望を果すためには

何十年もかけて、政権の中枢・

行政、教育、経済と、あらゆる

分野に、くまなく手を打ちます。

現に彼等が何十年も前から

打った手が、日本で悉く功を

奏しています。

今の日本は彼等の思ひ通りに

なっているのです。このままいけば

日本は尖閣から始まって、チベット

ウイグル、モンゴルと同じ運命に陥る

ことになるでしょう。

このように日本が深刻な危機にあるのに、国会では立民党がまだ「モリ、カケ、サ花見会」を議題にとり上げようとしています。日本が置かれている状況に対してこのようなことは些末なことではありません、とるに足らぬことです。たとえ平時であつてもこのような幼稚なことを議論することは日本の恥でもあります。「モリ、カケ、サ花見」を議論して喜ぶのは、日本国民ではなくて中国韓国の反日国です。反日国は日本の幼稚な国会を見て、日本をますます甘く見て難題を吹きかけてくるでしょう。日本の政治・行政が遅滞している間に、日本のGDP一人当りの金額はかつて世界二位であつたものがいまや20位台中頃まで低下してしまいました。すでに中進国の中に入って、まだ低下し続けています。

更に日本は中韓が仕かけてきた歴史認識戦争に敗れています。日本から遠く離れた国々で、日本は卑劣な国であり野蛮な民族であることを宣伝し続けてきました。日本のことをよく知らない国は本当にそうだと思いついでしまいました。

日本はこれまで彼らの用意周到の策謀を警戒心もなく見過してきました。

そして結果は彼らの思う壺にはまり込んでしまいました。

このようなことを放置すれば、未来の日本人は、あうぬ誤解を受け悪名を蒙ったままになつてしまいます。私たち世代は

自命の代のことより、次世代、未来世代の人たちのために汚名を晴らす義務があります。

鍵山秀三郎様